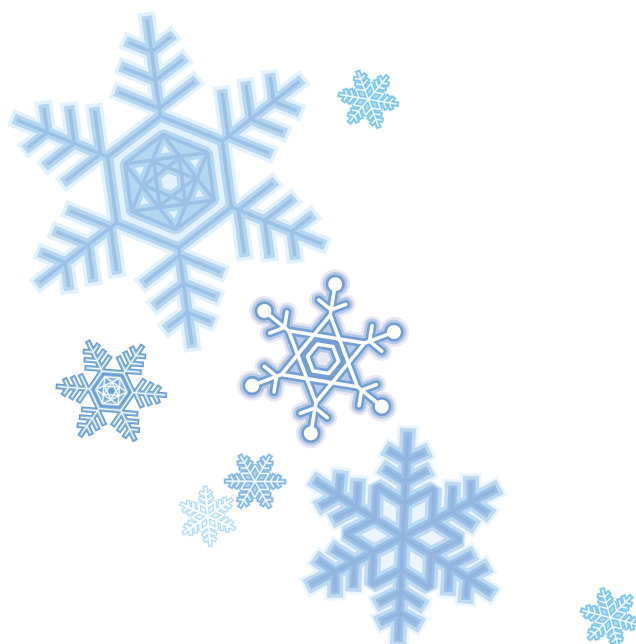


平成 25 年度

えりも町教育委員会の管理事務の執行状況に係る
点検及び評価について

報 告 書



平成 2 6 年 2 月

えりも町教育委員会

基礎資料

□ 内部・外部評価の現状

□ 教育委員会評価(1)

- 学校教育関係者----- P. 3
- 社会教育関係者----- 7
- 事務局職員----- 8

□ 教育委員会評価(2)

- 学校教育関係者----- P. 12
- 事務局職員----- 14

□ 教育委員会評価(3)

- 学校教育関係者----- P. 16
- 社会教育関係者----- 19
- 事務局職員----- 23

現 状 分 析

□ 内部・外部評価の現状分析

□ 教育委員会評価(1)

- 学校教育の推進----- P. 29
- 社会教育の推進----- 30

□ 教育委員会評価(2)

- 小・中・高等学校教育----- P. 31

□ 教育委員会評価(3)

- 事務局業務----- P. 32

総 括

□ 平成 25 年度教育委員会評価にかかわる総括 (P. 35)

- 評価総括
- 評価方法について
- 評価者の構成について
- 評価の活用について

□ 評価委員名簿 (P. 36)

えりも町教育行政評価の概要について

1 教育行政評価制度の概要

平成 19 年 6 月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、効果的な教育行政の推進と住民への説明責任を果たしていくため、教育委員会が、

- ① 毎年
- ② 教育委員会の事務の管理執行状況について
- ③ 教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図りつつ点検評価を行うこととし
- ④ 報告書を作成し議会に提出するとともに、公表しなければならないこと

が規定されました。

具体的な点検評価の項目については、各教育委員会が独自の判断で決定することとなります。

えりも町で 24 年度まで教育委員会事務局職員による内部評価を行い、議会に報告書を提出し、町ホームページで公表しておりましたが、本年度から、学識経験者等の評価委員による点検評価を実施することといたしました。

2 えりも町教育委員会の点検・評価の目的及び評価方法

(1) 目 的

えりも町教育委員会は、法の趣旨に則り、各学校評価や事務事業の執行状況について点検及び評価を行い、課題や取組の方向性を明らかにすることにより、効果的な教育行政の一層の推進を図ろうとするものです。

(2) 評価項目の設定

ア 学校評価

教育行政執行方針に基づく 25 年度の取組、その他重要と思われる内容

イ 教育委員会事務局の評価

教育行政執行方針や各課分掌事務等に基づく業務内容

3 点検・評価の手順

(1) 内部評価

学校教育課及び社会教育課職員において、その所管する評価項目について事業調書を作成し、内部評価を実施しました。

(2) 外部評価

学校関係者、社会教育関係者による外部評価を行いました。

※学校関係者：小・中・高の校長

※社会教育関係者：社会教育委員、スポーツ推進委員

(3) 評価委員評価

内部評価及び外部評価でまとめられた各評価項目について、評価委員 3 名による最終評価を行いました。

4 評価項目及び評価点

(1) 評価項目（詳細別掲）

ア 教育委員会評価(1)

教育行政執行方針の内容について

イ 教育委員会評価(2)

教育行政執行方針以外の学校の指導事項評価

ウ 教育委員会評価(3)

事務局の事務処理と執行状況

(2) 評価点

5段階評価としました。

1（十分でない）

2（やや十分といえない）

3（どちらとも言えない）

4（概ね十分である）

5（十分である）

教育委員会評価(1)学校関係者

No. 1

評価項目は、Ⅰ学校教育の推進、Ⅱ 社会教育の推進、Ⅲ 事務局業務の推進 の3つの柱で、区分計60項目が設定され

評価 5:十分である、4:概ね十分である、3:どちらとも買えない、2:やや十分といえない、1:十分でない。

要因	No.	評価項目	グラフ	平均
I	1	委員会は、積極的な危機管理に立って「えりもの教育」の充実発展に努めることができたか。		4.3
I	2	委員会は、「攻めの姿勢」で学校教育の推進に努めることができたか。		4.6
I	3	学校は、家庭と車の両輪となって、校内外の教育活動を推進することができたか。		3.8
I	4	学校は、全国学力・学習状況調査や標準式観点別学力診断の結果を踏まえ、教育向上対策委員会の方針に基づいて「授業改善と家庭学習改善」に取り組むことができたか。		3.7
I	5	学校は、実効性のある「学校改善プラン」を策定し、具体的に教育活動を進めることができたか。		3.8
I	6	学校は、全道へき地複式研、指導主事訪問等を生かし、授業力向上に努めることができたか。		4.2
I	7	学校は、振り返り学習やノート指導等にかかわる組織的・継続的な取組を行うことができたか。		4.2
I	8	学校は、家庭の理解・協力を得ながら、放課後や長期休業中の学習サポート等、家庭学習の習慣化を図ることに努めることができたか。		3.5
I	9	学校は、子どもたちが規範意識や思いやる心を育む道徳教育の充実に努めることができたか。		3.8
I	10	学校は、きめ細かな児童生徒理解や児童生徒との日々のコミュニケーションを大切に子どもと向き合うことができたか。		3.7
I	11	学校は、児童生徒からの小さなサインも敏感に受け止め、組織的・機動的に早期発見、早期対応に努めることができたか。		3.7
I	12	学校は、児童生徒のアンケート調査や教育相談を計画的に行うことができたか。		4.0
I	13	学校は、児童生徒が生活を考え深める道徳の授業を年間指導計画に基づいて計画的に行うことができたか。		3.8
I	14	学校は、生徒指導連絡協議会や地域の青少年健全育成の活動に積極的ににかかわることができたか。		4.0
I	15	学校は、「いじめのない学校」を目指し、児童生徒が主体となる「いじめ根絶標語」等をとおして組織的に取り組むことができたか。		4.2

教育委員会評価(1)学校関係者

No. 2

評価 5:十分である。4:概ね十分である。3:どちらとも書えない。2:やや十分といえない。1:十分でない。

要因	No.	評価項目	グラフ	平均
I	16	学校は、子どもが自らの生活習慣や運動習慣を見つめ直す取組を進めることができたか。		3.2
I	17	学校は、子どもの健康を守るため、「校舎内禁煙」等を行い児童生徒の環境づくりに努めることができたか。		4.7
I	18	学校は、マラソン大会や長縄とび、ウォーキング、スケート学習等、体力づくりの活動を計画的に取り組むことができたか。		4.0
I	19	学校は、「体力向上プラン」による一校一実践に取り組むことができたか。		3.8
I	20	学校は、新体力テストの実施やその活用、さらに虫歯予防のフッ化物洗口に取り組むことができたか。		4.5
I	21	学校は、津波や地震等の災害への対応等、健康教育や安全・安心な学校づくりに取り組むことができたか。		4.3
I	22	学校は、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な指導や支援を行うことができたか。		3.6
I	23	学校は、町の就学指導委員会や東部地区就学指導委員会の話し合い、他校との交流学習等を進めることができたか。		3.5
I	24	学校は、個に応じた就学と自立のための具体的な活動を展開することができたか。		3.8
I	25	学校は、「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」を作成し、きめ細かな指導を行うことができたか。		3.8
I	26	委員会は、支援員の配置を継続したり、児童生徒の実態を把握しながら支援や指導体制の充実、関係機関との連携を図ることができたか。		4.4
I	27	学校は、進路実現100%を目標に、学習指導や進路指導等、きめ細かな指導を計画的に行うことができたか。		4.0
I	28	学校は、習熟度に応じた少人数指導や課外講習、定期考査前補習、キャリア教育等、一人ひとりに応じた指導を進めることができたか。		5.0
I	29	学校は、部活動加入70%以上、全道大会進出4部以上等、部活動の活性化を図り、元気のある学舎づくりを進めることができたか。		4.0
I	30	学校は、隣国「韓国」と日本の歴史学習や同世代の人々、残留日本人との交流等をおして、隣国と日本のかかわりを学ばせるなど、国際理解教育の観点から実施することができたか。		4.0

教育委員会評価(1)学校関係者

No. 3

評価 5:十分である、4:概ね十分である、3:どちらとも言いえない、2:やや十分といえない、1:十分でない。				
要因	No.	評価項目	グラフ	平均
I	31	学校は、海外研修をとおして、実施の意義を具体的に検証することができたか。		3.0
I	32	中・高は、キャリア教育、環境教育、部活動、生徒会活動等、連携を図る取組を行うことができたか。		4.0
I	33	中・高は、特に教職員の乗り入れ授業や進路連携のキャリア教育、「百人浜に学ぶ」環境教育等、一層進めることができたか。		4.0
I	34	小・中・高は、英語、漢字、数学検定など、学びの連続性を重視した教育活動を推進することができたか。		3.4
I	35	学校は、教職員が法令等を遵守し、模範となる人として子どもたちの前に立つことができたか。(例えば、交通安全、体罰、セクハラ等の厳禁などの具体的な取組、服装・言葉遣い・電話の応対等の心がけを促す取組)		4.0
I	36	学校は、勤務・サービスの徹底を図ったか。(職務上、身分上の義務などにかかわる具体的な取組はどうであったか。)		4.1
I	37	学校は、学校経営上の積極的な危機管理を図る具体的な取組を行うことができたか。(教育課程、生徒指導、健康安全、サービス・健康、校舎管理、保護者等、個人情報等)		4.0
I	38	学校は、教職員の資質向上を図る取組を積極的に進めることができたか。(例えば、校長による定期的な授業参観や指導助言、PTA・地域行事への積極的な参加の奨励等)		4.3
III	52	委員会は、健康増進のため教育施設の「施設内禁煙」を実行することができたか。		4.6
III	53	委員会は、学校施設の適正な維持管理を進め、校舎や施設の改善に努めることができたか。		3.2
III	54	委員会は、教職員住宅等の住環境の整備を計画的に進め、老朽化が進んでいる住宅の改善を図ることができたか。		3.0
III	55	委員会は、拠点施設である福祉センターや温水プール等の老朽化に伴い、関係部局と協議し今後の施設の在り方も含め検討することができたか。		3.0
III	56	委員会は、巨大地震や津波等の災害に対し、学校に対し総合的な防災対策を講じることや児童生徒に対する防災教育を進めるよう推進することができたか。		3.2
III	57	委員会は、防災マップや避難経路の確保等、学校における防災体制を地域と共に見直すなど、推進することができたか。		3.2
III	58	委員会は、児童生徒や教職員を対象とした防災学習を実施するよう推進することができたか。		3.2

教育委員会評価(1)学校関係者

No. 4

評価 5:十分である。4:概ね十分である。3:どちらとも言えない。2:やや十分といえない。1:十分でない。

要因	No.	評価項目	グラフ	平均
Ⅲ	60	委員会は、有識者の知見を活用した点検・評価の体制を構築し、評価の取組を行うことができたか。	<p>Detailed description of the bar chart: The chart has a horizontal axis labeled '5', '4', '3', '2' from left to right. Above the axis, there are four bars corresponding to scores 5, 4, 3, and 2. The bars for scores 5, 4, and 3 are empty, indicating zero responses. The bar for score 1 (located between 4 and 3 on the axis) has a height of 4, indicating 4 responses. The vertical axis is on the left side of the chart area.</p>	4.0

教育委員会評価(1)社会関係者

No. 1

評価項目は、Ⅰ学校教育の推進、Ⅱ社会教育の推進、Ⅲ事務局業務の推進 の3つの柱で、区分計60項目が設定され

評価 5:十分である、4:概ね十分である、3:どちらとも書えない、2:やや十分といえない、1:十分でない。

区分	No.	評価項目	グラフ	平均
Ⅱ	39	委員会は、事業等の企画・運営に創意工夫を凝らし、リーダー的 は地域人材の活用を積極的に進めることができたか。		3.6
Ⅱ	40	委員会は、第5次社会教育中期計画を基に、生涯学習推進協議 会を中心として各関係団体と連携を図り、多様な学習機会の提供 と推進体制の充実に努めることができたか。		3.6
Ⅱ	41	委員会は、「放課後児童クラブ」について、働く町民への支援とな る事業として推進し、青少年健全育成会との連携を深め児童生 徒等の健全育成を図ることができたか。		4.1
Ⅱ	42	委員会は、町民が優れた芸術文化に触れ、積極的に参加できる よう、文化活動の環境整備を行うことができたか。		3.8
Ⅱ	43	委員会は、文化団体・サークル活動等の支援を具体的にを行うこ うができたか。		3.6
Ⅱ	44	委員会は、芸術鑑賞事業を継続実施し、鑑賞の機会の拡充と文 化情報の提供に努めることができたか。		4.0
Ⅱ	45	委員会は、地域の学習資源の調査を実施し、資料収集と情報の 提供を図ることができたか。		3.3
Ⅱ	46	委員会は、町民から寄贈された郷土資料の有効活用や文化財の 保護に努めることができたか。		3.6
Ⅱ	47	委員会は、国文化財名勝ヒリカノカに指定された「襟教師」の絵本 を作成し、文化財保護の大切さを周知することができたか。		3.9
Ⅱ	48	委員会は、関係機関等と連携し、町指定文化財「猿蓑参道」の保 全を進めることができたか。		4.3
Ⅱ	49	委員会は、各スポーツ関係団体と連携を図りながら、各種大会の 開催や指導者の養成を図ることができたか。		3.4
Ⅱ	50	委員会は、健康づくりを目的としたスポーツ教室を開催するこ うができたか。		3.8
Ⅱ	51	委員会は、スポーツ情報の提供と指導体制の整備を図り、円滑な 施設運営に当たることができたか。		3.7
Ⅲ	59	委員会は、事務処理・執行状況について、各領域の点検及び評 価を行い、その結果を議会に提出し公表することができたか。ま た、予定されているか。		3.9
Ⅲ	60	委員会は、有識者の知見を活用した点検・評価の体制を構築し、 評価の取組を行うことができたか。		3.7

教育委員会評価(1)職員全体集計

No. 1

評価項目は、I 学校教育の推進、II 社会教育の推進、III 事務局業務の推進 の3つの柱で、区分計60項目が設定され

評価 5:十分である、4:概ね十分である、3:どちらとも書えない、2:やや十分といえない、1:十分でない。

要因	No.	評価項目	グラフ	平均
I	1	委員会は、積極的な危機管理に立って「えりもの教育」の充実発展に努めることができたか。		3.6
I	2	委員会は、「攻めの姿勢」で学校教育の推進に努めることができたか。		3.6
I	3	学校は、家庭と車の両輪となって、校内外の教育活動を推進することができたか。		3.5
I	4	学校は、全国学力・学習状況調査や標準式観点別学力診断の結果を踏まえ、教育向上対策委員会の方針に基づいて「授業改善と家庭学習改善」に取り組むことができたか。		4.0
I	5	学校は、実効性のある「学校改善プラン」を策定し、具体的に教育活動を進めることができたか。		3.0
I	6	学校は、全道へき地複式研、指導主事訪問等を生かし、授業力向上に努めることができたか。		3.3
I	7	学校は、振り返り学習やノート指導等にかかわる組織的・継続的な取組を行うことができたか。		3.0
I	8	学校は、家庭の理解・協力を得ながら、放課後や長期休業中の学習サポート等、家庭学習の習慣化を図ることに努めることができたか。		3.5
I	9	学校は、子どもたちが規範意識や思いやる心を育む道徳教育の充実に努めることができたか。		2.5
I	10	学校は、きめ細かな児童生徒理解や児童生徒との日々のコミュニケーションを大切に子どもと向き合うことができたか。		3.5
I	11	学校は、児童生徒からの小さなサインも敏感に受け止め、組織的・機動的に早期発見、早期対応に努めることができたか。		3.5
I	12	学校は、児童生徒のアンケート調査や教育相談を計画的に行うことができたか。		3.5
I	13	学校は、児童生徒が生活を考え深める道徳の授業を年間指導計画に基づいて計画的に行うことができたか。		2.5
I	14	学校は、生徒指導連絡協議会や地域の青少年健全育成の活動に積極的ににかかわることができたか。		4.0
I	15	学校は、「いじめのない学校」を目指し、児童生徒が主体となる「いじめ根絶標語」等をとおして組織的に取り組むことができたか。		4.2

教育委員会評価(1)職員

No. 2

評価 5:十分である。4:概ね十分である。3:どちらとも書えない。2:やや十分といえない。1:十分でない。

要因	No.	評価項目	グラフ	平均
I	16	学校は、子どもが自らの生活習慣や運動習慣を見つめ直す取組を進めることができたか。		4.0
I	17	学校は、子どもの健康を守るため、「校舎内禁煙」等を行い児童生徒の環境づくりに努めることができたか。		4.6
I	18	学校は、マラソン大会や長縄とび、ウォーキング、スケート学習等、体力づくりの活動を計画的に取り組むことができたか。		3.7
I	19	学校は、「体力向上プラン」による一校一実践に取り組むことができたか。		3.0
I	20	学校は、新体力テストの実施やその活用、さらに虫歯予防のフッ化物洗口に取り組むことができたか。		4.5
I	21	学校は、津波や地震等の災害への対応等、健康教育や安全・安心な学校づくりに取り組むことができたか。		3.5
I	22	学校は、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な指導や支援を行うことができたか。		3.5
I	23	学校は、町の就学指導委員会や東部地区就学指導委員会の話し合い、他校との交流学習等を進めることができたか。		3.5
I	24	学校は、個に応じた就学と自立のための具体的な活動を展開することができたか。		4.0
I	25	学校は、「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」を作成し、きめ細かな指導を行うことができたか。		3.0
I	26	委員会は、支援員の配置を継続したり、児童生徒の実態を把握しながら支援や指導体制の充実、関係機関との連携を図ることができたか。		3.7
I	27	学校は、進路実現100%を目標に、学習指導や進路指導等、きめ細かな指導を計画的に行うことができたか。		3.5
I	28	学校は、習熟度に応じた少人数指導や課外講習、定期考査前補習、キャリア教育等、一人ひとりに応じた指導を進めることができたか。		3.8
I	29	学校は、部活動加入70%以上、全道大会進出4部以上等、部活動の活性化を図り、元気のある学舎づくりを進めることができたか。		3.5
I	30	学校は、隣国「韓国」と日本の歴史学習や同世代の人々、残留日本人との交流等をおして、隣国と日本のかかわりを学ばせるなど、国際理解教育の観点から実施することができたか。		3.2

教育委員会評価(1)職員

No. 3

評価 5:十分である。4:概ね十分である。3:どちらとも書えない。2:やや十分といえない。1:十分でない。

要因	No.	評価項目	グラフ	平均
I	31	学校は、海外研修をとおして、実施の意義を具体的に検証することができたか。		2.8
I	32	中・高は、キャリア教育、環境教育、部活動、生徒会活動等、連携を図る取組を行うことができたか。		3.5
I	33	中・高は、特に教職員の乗り入れ授業や道徳連携のキャリア教育、「百人浜に学ぶ」環境教育等、一層進めることができたか。		4.0
I	34	小・中・高は、英語、漢字、数学検定など、学びの連続性を重視した教育活動を推進することができたか。		3.8
I	35	学校は、教職員が法令等を遵守し、模範となる人として子どもたちの前に立つことができたか。(例えば、交通安全、体罰、セクハラ等の厳禁などの具体的な取組、服装・言葉遣い・電話の応対等の心がけを促す取組)		3.8
I	36	学校は、勤務・サービスの徹底を図ったか。(職務上、身分上の義務などにかかわる具体的な取組はどうであったか。)		3.7
I	37	学校は、学校経営上の積極的な危機管理を図る具体的な取組を行うことができたか。(教育課程、生徒指導、健康安全、服務・健康、校舎管理、保護者等、個人情報等)		3.8
I	38	学校は、教職員の資質向上を図る取組を積極的に進めることができたか。(例えば、校長による定期的な授業参観や指導助言、PTA・地域行事への積極的な参加の奨励等)		4.2
II	39	委員会は、事業等の企画・運営に創意工夫を凝らし、リーダー的は地域人材の活用を積極的に進めることができたか。		3.0
II	40	委員会は、第5次社会教育中期計画を基に、生涯学習推進協議会を中心として各関係団体と連携を図り、多様な学習機会の提供と推進体制の充実に努めることができたか。		2.7
II	41	委員会は、「放課後児童クラブ」について、働く町民への支援となる事業として推進し、青少年健全育成会との連携を深め児童生徒等の健全育成を図ることができたか。		3.4
II	42	委員会は、町民が優れた芸術文化に触れ、積極的に参加できるよう、文化活動の環境整備を行うことができたか。		3.5
II	43	委員会は、文化団体・サークル活動等の支援を具体的にを行うことができたか。		3.8
II	44	委員会は、芸術鑑賞事業を継続実施し、鑑賞の機会の拡充と文化情報の提供に努めることができたか。		4.2
II	45	委員会は、地域の学習資源の調査を実施し、資料収集と情報の提供を図ることができたか。		3.4

教育委員会評価(1)職員

No. 4

評価 5:十分である。4:概ね十分である。3:どちらとも書えない。2:やや十分といえない。1:十分でない。

要因	No.	評価項目	グラフ	平均
Ⅱ	46	委員会は、町民から寄贈された郷土資料の有効活用や文化財の保護に努めることができたか。		3.8
Ⅱ	47	委員会は、国文化財名勝跡リカノカに指定された「榎義師」の絵本を作成し、文化財保護の大切さを周知することができたか。		4.6
Ⅱ	48	委員会は、関係機関等と連携し、町指定文化財「猿留参道」の保全を進めることができたか。		4.4
Ⅱ	49	委員会は、各スポーツ関係団体と連携を図りながら、各種大会の開催や指導者の養成を図ることができたか。		3.8
Ⅱ	50	委員会は、健康づくりを目的としたスポーツ教室を開催することができたか。		3.8
Ⅱ	51	委員会は、スポーツ情報の提供と指導体制の整備を図り、円滑な施設運営に当たることができたか。		3.4
Ⅲ	52	委員会は、健康増進のため教育施設の「施設内禁煙」を実行することができたか。		4.1
Ⅲ	53	委員会は、学校施設の適正な維持管理を進め、校舎や施設の改善に努めることができたか。		3.2
Ⅲ	54	委員会は、教職員住宅等の住環境の整備を計画的に進め、老朽化が進んでいる住宅の改善を図ることができたか。		3.1
Ⅲ	55	委員会は、拠点施設である福祉センターや温水プール等の老朽化に伴い、関係部局と協議し今後の施設の在り方も含め検討することができたか。		2.4
Ⅲ	56	委員会は、巨大地震や津波等の災害に対し、学校に対し総合的な防災対策を講じることや児童生徒に対する防災教育を進めるよう推進することができたか。		3.1
Ⅲ	57	委員会は、防災マップや避難経路の確保等、学校における防災体制を地域と共に見直すなど、推進することができたか。		2.7
Ⅲ	58	委員会は、児童生徒や教職員を対象とした防災学習を実施するよう推進することができたか。		3.0
Ⅲ	59	委員会は、事務処理・執行状況について、各領域の点検及び評価を行い、その結果を議会に提出し公表することができたか。また、予定されているか。		4.3
Ⅲ	60	委員会は、有識者の知見を活用した点検・評価の体制を構築し、評価の取組を行うことができたか。		4.0

教育委員会評価(2)学校教育関係者

No. 1

評価項目は、1小・中・高等学校教育の柱で、区分計20項目が設定されています。

評価 5:十分である、4:概ね十分である、3:どちらとも書えない、2:やや十分といえない、1:十分でない。

要因	No.	評価項目	グラフ	平均
1	1	校長は、職員が経営参画意識をもって教育活動を展開するよう経営を行うことができたか。		3.9
1	2	校長は、意思疎通と共通認識を図り、意図的に組織的な運営を図るよう経営を行うことができたか。		3.7
1	3	学習指導要領の趣旨や地域、学校、児童生徒の実態を踏まえ、知・徳・体の調和の取れた教育課程を編成し経営を行うことができたか。		3.9
1	4	学校理解を図る場や機会を設けたり、学校支援本部の考えに立って地域力を生かした経営ができたか。		3.4
1	5	全国学力・学習状況調査の基礎問題Aの達成目標を数値化して取り組むことができたか。(基礎学力)		3.8
1	6	受容的態度と共感的な理解を大切に児童生徒理解を図ることができたか。(生徒指導)		3.9
1	7	生命を尊重する心を育てる薬物・性に関する指導を計画し実施することができたか。(健康安全)		3.6
1	8	不登校児童生徒の全体把握と校内体制を確立することができたか。		4.1
1	9	継続的でねばり強い家庭訪問を計画し、記録化を図りながら、家庭と連携した取り組みを行うことができたか		4.3
1	10	特別支援体制を確立し、子どもの自立を促す指導を工夫することができたか。		3.5
1	11	特別支援教育の理解を図るため、教職員の学習機会や情報の提供等を行うことができたか。		3.8
1	12	教職員は、PTA活動へ積極的に参加・協力することができたか。		4.4
1	13	学校評価(内部評価、生徒・保護者アンケート、学校関係者評価)を実施し公表することができたか。		4.3
1	14	公正・迅速・的確な予算執行と処理となるよう、管理職が定期的に点検することができたか。		4.3
1	15	公費・公金・PTA会費等につちえ適切で厳正な管理と節減、節約を図ることができたか。		4.3

教育委員会評価(2)学校教育関係者

No. 2

評価 5:十分である。4:概ね十分である。3:どちらとも言えない。2:やや十分といえない。1:十分でない。

要因	No.	評価項目	グラフ	平均												
1	16	教育環境を醸成する校内外美化を工夫し実践することができたか。	<table border="1"> <tr><th>評価</th><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr> <tr><th>回数</th><td>0</td><td>4</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td></tr> </table>	評価	5	4	3	2	1	回数	0	4	1	0	0	3.9
評価	5	4	3	2	1											
回数	0	4	1	0	0											
1	17	教育活動の姿が見える教室、廊下等の環境づくりに努めることができたか。	<table border="1"> <tr><th>評価</th><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr> <tr><th>回数</th><td>2</td><td>4</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td></tr> </table>	評価	5	4	3	2	1	回数	2	4	1	0	0	4.1
評価	5	4	3	2	1											
回数	2	4	1	0	0											
1	18	常に、児童生徒の模範となる職員室の整理整頓に努めることができたか。	<table border="1"> <tr><th>評価</th><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr> <tr><th>回数</th><td>1</td><td>4</td><td>2</td><td>0</td><td>0</td></tr> </table>	評価	5	4	3	2	1	回数	1	4	2	0	0	3.9
評価	5	4	3	2	1											
回数	1	4	2	0	0											
1	19	児童生徒の健康のため、校舎内禁煙の徹底を図ることができたか。	<table border="1"> <tr><th>評価</th><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr> <tr><th>回数</th><td>6</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> </table>	評価	5	4	3	2	1	回数	6	1	0	0	0	4.9
評価	5	4	3	2	1											
回数	6	1	0	0	0											
1	20	心のゆとりがもてる教職員の自己健康管理を奨励することができたか。	<table border="1"> <tr><th>評価</th><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr> <tr><th>回数</th><td>0</td><td>4</td><td>2</td><td>1</td><td>0</td></tr> </table>	評価	5	4	3	2	1	回数	0	4	2	1	0	3.4
評価	5	4	3	2	1											
回数	0	4	2	1	0											

教育委員会評価(2)職員

No. 1

評価項目は、1 小・中・高等学校教育 の柱で、区分計20項目が設定されています。

評価 5:十分である、4:概ね十分である、3:どちらとも書えない、2:やや十分といえない、1:十分でない。

要因	No.	評価項目	グラフ	平均
1	1	校長は、職員が経営参画意識をもって教育活動を展開するよう経営を行うことができたか。		3.5
1	2	校長は、意思疎通と共通認識を図り、意図的に組織的な運営を図るよう経営を行うことができたか。		3.3
1	3	学習指導要領の趣旨や地域、学校、児童生徒の実態を踏まえ、知・徳・体の調和の取れた教育課程を編成し経営を行うことができたか。		3.2
1	4	学校理解を図る場や機会を設けたり、学校支援本部の考えに立って地域力を生かした経営ができたか。		3.3
1	5	全国学力・学習状況調査の基礎問題Aの達成目標を数値化して取り組むことができたか。(基礎学力)		3.5
1	6	受容的態度と共感的な理解を大切に児童生徒理解を図ることができたか。(生徒指導)		3.5
1	7	生命を尊重する心を育てる薬物・性に関する指導を計画し実施することができたか。(健康安全)		2.5
1	8	不登校児童生徒の全体把握と校内体制を確立することができたか。		3.5
1	9	継続的でねばり強い家庭訪問を計画し、記録化を図りながら、家庭と連携した取り組みを行うことができたか		3.5
1	10	特別支援体制を確立し、子どもの自立を促す指導を工夫することができたか。		3.5
1	11	特別支援教育の理解を図るため、教職員の学習機会や情報の提供等を行うことができたか。		3.5
1	12	教職員は、PTA活動へ積極的に参加・協力することができたか。		3.5
1	13	学校評価(内部評価、生徒・保護者アンケート、学校関係者評価)を実施し公表することができたか。		3.7
1	14	公正・迅速・的確な予算執行と処理となるよう、管理職が定期的に点検することができたか。		3.3
1	15	公費・公金・PTA会費等につちえ適切で厳正な管理と節減、節約を図ることができたか。		3.0

教育委員会評価(2)職員

No. 2

評価 5:十分である。4:概ね十分である。3:どちらとも言えない。2:やや十分といえない。1:十分でない。

原因	No.	評価項目	グラフ	平均
1	16	教育環境を醸成する校内外美化を工夫し実践することができたか。		3.5
1	17	教育活動の姿が見える教室、廊下等の環境づくりに努めることができたか。		3.5
1	18	常に、児童生徒の模範となる職員室の整理整頓に努めることができたか。		3.3
1	19	児童生徒の健康のため、校舎内禁煙の徹底を図ることができたか。		4.5
1	20	心のゆとりがもてる教職員の自己健康管理を奨励することができたか。		3.0

教育委員会評価(3)学校教育関係者

No. 1

評価項目は、1 両課共通、2 学校教育課、3 社会教育課 の3つの柱で、区分計81項目が設定されています。

評価 5:十分である、4:概ね十分である、3:どちらとも書えない、2:やや十分といえない、1:十分でない。

要因	No.	評価項目	グラフ	平均
1	1	業務は、相手意識に立ち、丁寧に対応することができたか。		4.3
1	2	事業等の実施に当たっては、早めの計画、レクチャー等、積極的な姿勢で進めることができたか。		4.0
1	3	服装、言葉遣い、挨拶、電話対応(名を名乗る)等、心地よい言動や接遇ができたか。		4.4
1	4	夜間業務は、22時までとすることが守られたか。		4.7
2	5	教育委員会会議の案内、議案書、会議録等に関する業務を適切に事務処理することができたか。		4.0
2	6	学校職員の管理職試験、異動希望調査等の人事に関する業務を適切に事務処理することができたか。		4.1
2	7	学校職員の争議行為、交通違反等処分、健康診断等のサービス・福利厚生及び保険に関する業務を適切に行うことができたか。		3.9
2	8	学校職員の配分旅費事務等、旅費等の執行を迅速、適切に行うことができたか。		4.0
2	9	学校教育関係に係る報酬事務等の業務を適切に行うことができたか。		4.0
2	10	学校施設、教員住宅の建設・管理の業務を適切に行うことができたか。		3.4
2	11	奨学資金の受付・貸付事務等に関する業務を迅速に行うことができたか。		4.0
2	12	幼稚園の就園奨励補助金、振興奨励補助金事務に関する業務を適切に行うことができたか。		4.0
2	13	文書の收受及び発送に関する業務を迅速に行うことができたか。		3.6
2	14	地方教育費調査、高校通知事務等に関する業務を迅速、適切に行うことができたか。		3.0
2	15	学校管理係の経理事務に関する業務を迅速、適切に行うことができたか。		4.2

教育委員会評価(3)学校教育関係者

No. 2

評価 5:十分である、4:概ね十分である、3:どちらとも書えない、2:やや十分といえない、1:十分でない。

要因	No.	評価項目	グラフ	平均
2	16	新入学児童事務、就学指導委員会事務等の学級編成、学齢者の就学及び転学業務を適切に行うことができたか。		4.0
2	17	学校訪問、教育課程編成、時数集計事務等の学校訪問・教育課程の実施に関する業務を適切に行うことができたか。		4.4
2	18	教科書採択事務、教材・理科備品購入事務等の教科書及び教育用備品に関する業務を適切に行うことができたか。		4.1
2	19	要保護・準要保護事務、特別支援教育支援員等の教育扶助及び就学援助に関する業務を適切に行うことができたか。		4.5
2	20	学校検診、医師・学校との日程調整、フッ化物洗口事務等の児童生徒の保健衛生に関する業務を適切に行うことができたか。		4.4
2	21	学級閉鎖、災害共済給付金事務等の児童生徒の安全対策に関する業務を適切に行うことができたか。		4.0
2	22	生徒指導連絡協議会事務、重大事故報告事務等の児童生徒の指導及び非行防止対策・措置に関する業務を適切に行うことができたか。		4.3
2	23	学校給食の施設管理・営繕、清掃業務委託等の安全対策、衛生管理に関する業務を適切に行うことができたか。		4.6
2	24	学校職員の研修周知等の研修に関する業務を迅速、適切に行うことができたか。		4.4
2	25	外国語指導助手の各種研修派遣、業務日程管理、賞金支出等に関する業務を適切に行うことができたか。		3.3
2	26	学校教育系の経理事務に関する業務を迅速、適切に行うことができたか。		4.2
2	27	スクールバス運行等に関する車両業務の調整、運行を迅速に行うことができたか。		4.7
2	28	車両に関する予算、修理等の執行を円滑に行うことができたか。		4.0
2	29	学校職員勤務評定事務に関する業務を適切に行うことができたか。		4.5
2	30	関係団体の対応、学校評議員事務に関する業務を適切に行うことができたか。		4.2

教育委員会評価(3)学校教育関係者

No. 3

評価 5:十分である、4:概ね十分である、3:どちらとも言えない、2:やや十分といえない、1:十分でない。

要因	No.	評価項目	グラフ	平均
2	31	教職員辞令交付式、令達会議に関する業務を適切に行うことができたか。		4.0
2	32	初任者研修等の各種研修及び時間講師事務に関する業務を適切に行うことができたか。		4.2
2	33	教育向上対策委員会事務に関する業務を適切に行うことができたか。		4.3
2	34	振興奨励補助金事務に関する業務を適切に行うことができたか。		4.0
2	35	教育長動向調整に関する業務を適切に行うことができたか。		4.5
2	36	学校職員等の慶弔事務に関する業務を適切に行うことができたか。		4.0
2	37	他課・係との調整に関する業務を適切に行うことができたか。		4.0

教育委員会評価(3)社会教育関係者

No. 1

評価項目は、1 両課共通、2 学校教育課、3 社会教育課 の3つの柱で、区分計81項目が設定されています。

評価 5:十分である。4:概ね十分である。3:どちらとも言えない。2:やや十分といえない。1:十分でない。

原因	No.	評価項目	グラフ	平均
1	1	業務は、相手意識に立ち、丁寧に対応することができたか。		4.0
1	2	事業等の実施に当たっては、早めの計画、レクチャー等、積極的な姿勢で進めることができたか。		3.8
1	3	服装、言葉遣い、挨拶、電話対応(名を名乗る)等、心地よい言動や接遇ができたか。		4.0
1	4	夜間業務は、22時までとすることが守られたか。		3.6
3	38	生涯学習の推進体制の整備を進めることができたか。		3.7
3	39	社会教育推進の中期計画の推進を図ることができたか。		3.7
3	40	社会教育委員の任免、委員会等に関する業務を適切に行うことができたか。		3.8
3	41	出前講座等への指導者養成・発掘等に関する業務を推進することができたか。		3.6
3	42	生涯学習まちづくり出前講座、まなびの広場等の生涯学習推進協議会に関する業務を推進することができたか。		4.0
3	43	児童劇鑑賞、幼児教育講演会等の幼児教育振興会に関する業務を推進することができたか。		4.3
3	44	各PTAとの連絡調整、研究大会事務処理等の町PTA連合会に関する業務を推進することができたか。		3.4
3	45	女性団体の連絡調整、各種会議、女性大会の事務処理等の女性団体連絡協議会に関する業務を適切に行うことができたか。		3.5
3	46	高齢者教室運営、スポーツ大会、教室生大会運営等の高齢者教室の開設に関する業務を適切に行うことができたか。		4.1
3	47	子育てテレホンサービス、なやみ相談電話等の家庭教育相談事業に関する業務を適切に行うことができたか。		3.4

教育委員会評価(3)社会教育関係者

No. 2

評価 5:十分である、4:概ね十分である、3:どちらとも書えない、2:やや十分といえない、1:十分でない。

要因	No.	評価項目	グラフ	平均
3	48	学校施設を利用した各種開放講座に関する業務を推進することができたか。		3.8
3	49	新生活運動等のコミュニケーション運動に関する業務を推進することができたか。		3.7
3	50	ユネスコ活動に関する業務を推進することができたか。		3.0
3	51	日高管内社会教育職員研究協議会及び研修関係等に関する業務を適切に行うことができたか。		4.1
3	52	社会教育係の経理事務に関する業務を迅速、適切に行うことができたか。		4.0
3	53	青少年問題協議会委員の任免、会議に関する業務を適切に行うことができたか。		4.2
3	54	青少年健全育成会の各種会議、体験活動事業、育成会運営等に関する業務を適切に行うことができたか。		4.1
3	55	青少年の非行防止対策事業、非行補導、措置等に関する業務を適切に行うことができたか。		4.0
3	56	青年団体連盟に関する各種会議、事業等の業務を適切に行うことができたか。		3.5
3	57	青年団体連絡協議会に関する視察研修等の業務を適切に行うことができたか。		3.5
3	58	ジュニアリーダーコース、イングリッシュ・キャンプ等の派遣事業に関する業務を適切に行うことができたか。		3.8
3	59	青少年及び団体の表彰に関する業務を適切に行うことができたか。		3.7
3	60	「放課後児童クラブ」に関する管理・運営、経理等の業務を適切に行うことができたか。		4.0
3	61	福祉センターロビーを活用して文化交流並びに文化情報の公開に関する業務を推進することができたか。		3.9
3	62	小中学校巡回小劇場公演業務、文化祭開催、文芸誌発行等に関する文化協会の業務を適切に行うことができたか。		3.9

教育委員会評価(3)社会教育関係者

No. 3

評価 5:十分である、4:概ね十分である、3:どちらとも言えない、2:やや十分といえない、1:十分でない。

要因	No.	評価項目	グラフ	平均
3	63	図書館の開設、活動の企画・運営、資料整理・管理等に関する業務を適切に行うことができたか。		3.8
3	64	移動図書館巡回文庫、読書啓発活動等に関する読書活動推進の業務を適切に行うことができたか。		3.9
3	65	ボランティアサークル「リーブル」等に関するボランティア団体の業務を適切に行うことができたか。		3.5
3	66	図書館の研修関係や経理事務の業務を迅速、適切に行うことができたか。		3.3
3	67	福祉センターの管理・運営、経理事務等の業務を適切に行うことができたか。		4.1
3	68	文化財の保護、文化財調査委員の任免、会議の開催に関する業務を適切に行うことができたか。		4.2
3	69	郷土資料の収集、保存、研究等に関する業務を適切に行うことができたか。		4.0
3	70	町郷土芸能・えりも駒踊り・榊雲神楽保存会等の郷土芸能の伝承及び育成に関する業務を適切に行うことができたか。		4.2
3	71	体育振興中期計画の推進を図ることができたか。		3.3
3	72	スポーツ推進委員の任免、会議等の業務を適切に行うことができたか。		4.0
3	73	地区スポーツ指導員の任免、会議等の業務を適切に行うことができたか。		4.0
3	74	町体育協会、スポーツ少年団本部等の体育、スポーツ及びレクリエーションの普及並びに指導援助に関する業務を適切に行うことができたか。		4.1
3	75	体育団体指導者育成、養成・研修会等の体育指導者の育成及び援助に関する業務を推進することができたか。		3.4
3	76	スポーツ傷害保険加入奨励、保険事故処理等のスポーツ活動の安全対策に関する業務を適切に行うことができたか。		4.2

教育委員会評価(3)社会教育関係者

No. 4

評価 5:十分である。4:概ね十分である。3:どちらとも言えない。2:やや十分といえない。1:十分でない。

原因	No.	評価項目	グラフ	平均												
3	78	学校体育施設の開放事業の業務を適切に行うことができたか。	<table border="1"> <tr><th>評価</th><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr> <tr><th>回数</th><td>0</td><td>7</td><td>2</td><td>0</td><td>0</td></tr> </table>	評価	5	4	3	2	1	回数	0	7	2	0	0	3.9
評価	5	4	3	2	1											
回数	0	7	2	0	0											
3	79	スポーツ公園、温水プール、町民体育館等の運営・管理、安全対策等の業務を適切に行うことができたか。	<table border="1"> <tr><th>評価</th><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr> <tr><th>回数</th><td>1</td><td>8</td><td>2</td><td>0</td><td>0</td></tr> </table>	評価	5	4	3	2	1	回数	1	8	2	0	0	3.9
評価	5	4	3	2	1											
回数	1	8	2	0	0											
3	80	体育施設の使用許可、使用料の徴収等の業務を適切に事務処理することができたか。	<table border="1"> <tr><th>評価</th><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr> <tr><th>回数</th><td>2</td><td>7</td><td>2</td><td>0</td><td>0</td></tr> </table>	評価	5	4	3	2	1	回数	2	7	2	0	0	4.0
評価	5	4	3	2	1											
回数	2	7	2	0	0											
3	81	体育施設の有効利用に関する業務を推進することができたか。	<table border="1"> <tr><th>評価</th><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr> <tr><th>回数</th><td>1</td><td>8</td><td>3</td><td>0</td><td>0</td></tr> </table>	評価	5	4	3	2	1	回数	1	8	3	0	0	3.8
評価	5	4	3	2	1											
回数	1	8	3	0	0											

教育委員会評価(3)職員全体集計

No. 1

評価項目は、1 両課共通、2 学校教育課、3 社会教育課 の3つの柱で、区分計81項目が設定されています。

評価 5:十分である、4:概ね十分である、3:どちらとも書えない、2:やや十分といえない、1:十分でない。

要因	No.	評価項目	グラフ	平均
1	1	業務は、相手意識に立ち、丁寧に対応することができたか。		3.9
1	2	事業等の実施に当たっては、早めの計画、レクチャー等、積極的な姿勢で進めることができたか。		3.3
1	3	服装、言葉遣い、挨拶、電話対応(名を名乗る)等、心地よい言動や接遇ができたか。		3.9
1	4	夜間業務は、22時までとすることが守られたか。		4.4
2	5	教育委員会会議の案内、議案書、会議録等に関する業務を適切に事務処理することができたか。		4.3
2	6	学校職員の管理職試験、異動希望調査等の人事に関する業務を適切に事務処理することができたか。		4.2
2	7	学校職員の争議行為、交通違反等処分、健康診断等の服務・福利厚生及び保険に関する業務を適切に行うことができたか。		4.2
2	8	学校職員の配分旅費事務等、旅費等の執行を迅速、適切に行うことができたか。		3.8
2	9	学校教育関係に係る報酬事務等の業務を適切に行うことができたか。		4.0
2	10	学校施設、教員住宅の建設・管理の業務を適切に行うことができたか。		4.0
2	11	奨学資金の受付・資質事務等に関する業務を迅速に行うことができたか。		4.0
2	12	幼稚園の就園奨励補助金、振興奨励補助金事務に関する業務を適切に行うことができたか。		4.2
2	13	文書の收受及び発送に関する業務を迅速に行うことができたか。		3.8
2	14	地方教育費調査、高校通知事務等に関する業務を迅速、適切に行うことができたか。		4.0
2	15	学校管理係の経理事務に関する業務を迅速、適切に行うことができたか。		3.3

教育委員会評価(3)職員

No. 2

評価 5:十分である、4:概ね十分である、3:どちらとも書えない、2:やや十分といえない、1:十分でない。

要因	No.	評価項目	グラフ	平均
2	16	新入学児童事務、就学指導委員会事務等の学級編成、学齢者の就学及び転学業務を適切に行うことができたか。		3.8
2	17	学校訪問、教育課程編成、時数集計事務等の学校訪問・教育課程の実施に関する業務を適切に行うことができたか。		4.0
2	18	教科書採択事務、教材・理科備品購入事務等の教科書及び教育用備品に関する業務を適切に行うことができたか。		3.4
2	19	要保護・準要保護事務、特別支援教育支援員等の教育扶助及び就学援助に関する業務を適切に行うことができたか。		4.6
2	20	学校検診、医師・学校との日程調整、フッ化物洗口事務等の児童生徒の保健衛生に関する業務を適切に行うことができたか。		4.3
2	21	学級閉鎖、災害共済給付金事務等の児童生徒の安全対策に関する業務を適切に行うことができたか。		4.0
2	22	生徒指導連絡協議会事務、重大事故報告事務等の児童生徒の指導及び非行防止対策・措置に関する業務を適切に行うことができたか。		4.0
2	23	学校給食の施設管理・営繕、清掃業務委託等の安全対策、衛生管理に関する業務を適切に行うことができたか。		3.4
2	24	学校職員の研修周知等の研修に関する業務を迅速、適切に行うことができたか。		3.6
2	25	外国語指導助手の各種研修派遣、業務日程管理、賞金支出等に関する業務を適切に行うことができたか。		3.5
2	26	学校教育係の経理事務に関する業務を迅速、適切に行うことができたか。		4.3
2	27	スクールバス運行等に関する車両業務の調整、運行を迅速に行うことができたか。		4.7
2	28	車両に関する予算、修理等の執行を円滑に行うことができたか。		4.7
2	29	学校職員勤務評定事務に関する業務を適切に行うことができたか。		4.0
2	30	関係団体の対応、学校評議員事務に関する業務を適切に行うことができたか。		3.8

教育委員会評価(3)職員

No. 3

評価 5:十分である。4:概ね十分である。3:どちらとも書えない。2:やや十分といえない。1:十分でない。

要因	No.	評価項目	グラフ	平均
2	31	教職員辞令交付式、令達会議に関する業務を適切に行うことができたか。		4.2
2	32	初任者研修等の各種研修及び時間講師事務に関する業務を適切に行うことができたか。		4.0
2	33	教育向上対策委員会事務に関する業務を適切に行うことができたか。		4.2
2	34	振興奨励補助金事務に関する業務を適切に行うことができたか。		3.6
2	35	教育長動向調整に関する業務を適切に行うことができたか。		3.8
2	36	学校職員等の慶弔事務に関する業務を適切に行うことができたか。		4.0
2	37	他課・係との調整に関する業務を適切に行うことができたか。		3.7
3	38	生涯学習の推進体制の整備を進めることができたか。		3.7
3	39	社会教育推進の中期計画の推進を図ることができたか。		3.6
3	40	社会教育委員の任免、委員会等に関する業務を適切に行うことができたか。		4.4
3	41	出前講座等への指導者養成・発掘等に関する業務を推進することができたか。		3.1
3	42	生涯学習まちづくり出前講座、まなびの広場等の生涯学習推進協議会に関する業務を推進することができたか。		4.1
3	43	児童劇鑑賞、幼児教育講演会等の幼児教育振興会に関する業務を推進することができたか。		4.5
3	44	各PTAとの連絡調整、研究大会事務処理等の町PTA連合会に関する業務を推進することができたか。		4.0
3	45	女性団体の連絡調整、各種会議、女性大会の事務処理等の女性団体連絡協議会に関する業務を適切に行うことができたか。		4.1

教育委員会評価(3)職員

No. 4

評価 5:十分である、4:概ね十分である、3:どちらとも書えない、2:やや十分といえない、1:十分でない。

要因	No.	評価項目	グラフ	平均
3	46	高齢者教室運営、スポーツ大会、教室生大会運営等の高齢者教室の開設に関する業務を適切に行うことができたか。		4.4
3	47	子育てテレホンサービス、なやみ相談電話等の家庭教育相談事業に関する業務を適切に行うことができたか。		4.0
3	48	学校施設を利用した各種開放講座に関する業務を推進することができたか。		3.0
3	49	新生活運動等のコミュニケーション運動に関する業務を推進することができたか。		3.2
3	50	ユネスコ活動に関する業務を推進することができたか。		2.3
3	51	日高管内社会教育職員研究協議会及び研修関係等に関する業務を適切に行うことができたか。		4.6
3	52	社会教育系の経理事務に関する業務を迅速、適切に行うことができたか。		4.5
3	53	青少年問題協議会委員の任免、会議に関する業務を適切に行うことができたか。		4.5
3	54	青少年健全育成会の各種会議、体験活動事業、育成会運営等に関する業務を適切に行うことができたか。		4.4
3	55	青少年の非行防止対策事業、非行補導、措置等に関する業務を適切に行うことができたか。		3.8
3	56	青年団体連盟に関する各種会議、事業等の業務を適切に行うことができたか。		3.7
3	57	青年団体連絡協議会に関する視察研修等の業務を適切に行うことができたか。		3.5
3	58	ジュニアリーダーコース、イングリッシュ・キャンプ等の派遣事業に関する業務を適切に行うことができたか。		4.4
3	59	青少年及び団体の表彰に関する業務を適切に行うことができたか。		3.8
3	60	「放課後児童クラブ」に関する管理・運営、経理等の業務を適切に行うことができたか。		4.6

教育委員会評価(3)職員

No. 5

評価 5:十分である。4:概ね十分である。3:どちらとも書えない。2:やや十分といえない。1:十分でない。

要因	No.	評価項目	グラフ	平均
3	61	福祉センターロビーを活用して文化交流並びに文化情報の公開に関する業務を推進することができたか。		3.6
3	62	小中学校巡回小劇場公演業務、文化祭開催、文芸誌発行等に関する文化協会の業務を適切に行うことができたか。		4.4
3	63	図書館の開設、活動の企画・運営、資料整理・管理等に関する業務を適切に行うことができたか。		3.2
3	64	移動図書館巡回文庫、読書啓発活動等に関する読書活動推進の業務を適切に行うことができたか。		3.2
3	65	ボランティアサークル「リープル」等に関するボランティア団体の業務を適切に行うことができたか。		2.6
3	66	図書館の研修関係や経理事務の業務を迅速、適切に行うことができたか。		3.6
3	67	福祉センターの管理・運営、経理事務等の業務を適切に行うことができたか。		4.4
3	68	文化財の保護、文化財調査委員の任免、会議の開催に関する業務を適切に行うことができたか。		4.4
3	69	郷土資料の収集、保存、研究等に関する業務を適切に行うことができたか。		4.0
3	70	町郷土芸能・えりも駒踊り・襟裳神楽保存会等の郷土芸能の伝承及び育成に関する業務を適切に行うことができたか。		4.2
3	71	体育振興中期計画の推進を図ることができたか。		3.7
3	72	スポーツ推進委員の任免、会議等の業務を適切に行うことができたか。		4.8
3	73	地区スポーツ指導員の任免、会議等の業務を適切に行うことができたか。		4.8
3	74	町体育協会、スポーツ少年団本部等の体育、スポーツ及びレクリエーションの普及並びに指導援助に関する業務を適切に行うことができたか。		4.3
3	75	体育団体指導者育成、養成・研修会等の体育指導者の育成及び援助に関する業務を推進することができたか。		3.5

教育委員会評価(3)職員

No. 6

評価 5:十分である。4:概ね十分である。3:どちらとも言えない。2:やや十分といえない。1:十分でない。

要因	No.	評価項目	グラフ	平均
3	76	スポーツ傷害保険加入奨励、保険事故処理等のスポーツ活動の安全対策に関する業務を適切に行うことができたか。		4.8
3	77	スポーツ功労表彰に関する業務を適切に行うことができたか。		4.7
3	78	学校体育施設の開放事業の業務を適切に行うことができたか。		4.8
3	79	スポーツ公園、温水プール、町民体育館等の運営・管理、安全対策等の業務を適切に行うことができたか。		4.2
3	80	体育施設の使用許可、使用料の徴収等の業務を適切に事務処理することができたか。		4.8
3	81	体育施設の有効利用に関する業務を推進することができたか。		4.3

教育委員会評価（１） 教育行政執行方針の学校関係

I 学校教育の推進

	No.	分析	傾向と課題
学校 教育 関係 者	17 2 52 2 20	○高い評価となっているのは、 ・「校舎内禁煙」の徹底（平均4.7） ・委員会の「攻めの姿勢」推進（平均4.6） ・委員会の「教育施設内禁煙」の実行（平均4.6） ・新体力テスト、フッ化物洗口の取組（平均4.5）	○傾向 ・教育委員会の姿勢について高く評価している。また、児童生徒の環境づくりとしての「校内、施設内禁煙」や「フッ化洗口」の取組等、健康づくりが推進されていることがうかがわれる。 ・一方、えりも高校の海外研修の具体的な検証や、住環境、施設整備について改善が求められている。
	31 54 55	△逆に、低い評価となっているのは、 ・高校の海外研修の具体的な検証（平均3.0） ・教職員住宅等の住環境の整備（平均3.0） ・拠点施設の在り方検討（平均3.0）	○課題 ・住環境や教育施設について再考し説明すること、防災体制では委員会が何らかの部分でイニシアティブを取らなければならないことを見直す必要がある。 ・児童生徒の生活習慣・運動習慣を見つめ直すことが必要である。 ・小・中・高の検定の活動については、評価が分かれており、共通認識に立つ必要がある。
職 員	17 20	○高い評価となっているのは、 ・「校舎内禁煙」の徹底（平均4.6） ・新体力テスト、フッ化物洗口の取組（平均4.5）	○傾向 ・教育委員会の姿勢について高く評価している。また、児童生徒の環境づくりとしての「校内、施設内禁煙」や「フッ化洗口」の取組等健康づくりが推進されていることがうかがわれる。 ・一方、えりも高校の海外研修の具体的な検証、住環境、施設整備について改善が求められている。
	9 13 57 31	△逆に、低い評価となっているのは、 ・規範意識等、道徳教育の充実（平均2.5） ・道徳の年間指導計画の計画と実施（平均2.5） ・委員会の学校防災体制の推進（平均2.7） ・高校の海外研修の具体的な検証（平均2.8）	○課題 ・住環境や教育施設について再考し説明すること、防災では委員会が何らかの部分でイニシアティブを取らなければならないことを見直す必要がある。 ・児童生徒の生活習慣・運動習慣を見つめ直すことが必要である。

○学校教育の評価者は、学校教育関係者は7名(各学校長)で、職員は事務局6名、高校事務2名の計8名である。

・NO1(積極的な危機管理)、2(攻めの姿勢)、9(道徳教育)、13(道徳の授業)、30(高校の海外研修)については、学校関係者と職員に評価の違いが見られる。その差異の要因を分析し次年度に生かすことが求められる。

・NO31(海外研修の検証)は、両評価者とも低い評価となっており、状況について確認する必要がある。

教育委員会評価（１） 教育行政執行方針の社会教育関係
Ⅱ 社会教育の推進

	No.	分析	傾向と課題
社会教育関係者	48	○高い評価となっているのは、 ・文化財「猿留山道」の保全（平均4.3） ・「放課後児童クラブ」の推進（平均4.1） ・芸術鑑賞事業の継続実施（平均4.0） △逆に、低い評価となっているのは、 ・学習資源の調査・資料収集・情報提供（平均3.3） ・各種大会の開催と指導者（平均3.4）	○傾向 ・「十分である」の回答が少ない。多くの項目で「概ね十分」と評価している。 ・一方、39（地域人材の活用）、49（各種大会の開催、指導者養成）は、評価3が多い。 ○課題 ・事業等の企画・運営の創意工夫やリーダー的の地域人材の活用を図る取組の改善が求められる。
	41		
	44		
	45		
	49		
職員	47	○高い評価となっているのは、 ・ピリカノカの指定「襟裳岬」の絵本、文化財保護の周知（平均4.5） ・文化財「猿留山道」の保全（平均4.3） ・「放課後児童クラブ」の推進（平均4.1） ・芸術鑑賞事業の継続実施と鑑賞の機会の拡充、文化情報の提供（平均4.0） △逆に、低い評価となっているのは、 ・拠点施設の在り方検討（平均2.4） ・学習資源の調査と資料収集、情報提供（平均3.4） ・多様な学習機会の提供と推進体制（平均2.7）	○傾向 ・47（ピリカノカ指定）はよい評価だが、多くは概ね十分としている。 ・一方、39（事業等の企画・運営）や42（文化活動の環境整備）は、評価に差がみられる。 ○課題 ・中期計画では、委員会としての在り方、推進体制を常に念頭に置き、事業展開をどのように進めるか、各事業等で推進の具体的な目標行動を位置付けることが求められる。
	48		
	41		
	44		
	55		
45			
40			

○社会教育の評価者は、社会教育関係者15名（社会教育委員9名、スポーツ指導員6名で、スポーツ指導員は体育振興のみ評価）である。
・NO51（円滑な施設運営）については、社会教育関係者と職員に評価の違いが見られることから、要因を把握し次年度に生かすことが求められる。
・NO45（地域の学習資源の活用）については、両評価者とも低い評価となっており、次年度に向けて具体的な方策を示して進める必要がある。

教育委員会評価（２） 執行方針外の学校教育関係
Ⅱ 小・中・高等学校教育

	No.	分析	傾向と課題
学校 教育 関係 者	19	○高い評価となっているのは、 ・「校舎内禁煙」の徹底 (平均4.9)	○傾向 ・25年度は、計画的に禁煙について実行したが、どの学校も取り組むことができ、高い評価である。 ・学校評価は概ね行われている。 ・公費管理も概ね適正に行われている。 ○課題 ・特別支援にかかわる評価は、概ね十分であるが、26年度は、小学校では笛舞小を除くえり小、東洋小、えりも岬小、庶野小で特別支援学級が設置されることから、個別の支援計画や、学習の機会を計画立案することが求められる。
	12	・PTA活動へ積極的な参加・協力 (平均4.4)	
	9	・継続的ねばり強い家庭訪問の計画と記録化 (平均4.3)	
	13	・学校評価の実施と公表 (平均4.3)	
	14	・公正な予算執行と管理職の定期的点検 (平均4.3)	
	15	・公費等の厳正な管理と節減、節約 (平均4.3)	
	4	△逆に、低い評価となっているのは、 ・地域力を生かした経営 (平均3.4)	
	20	・教職員の自己健康管理の奨励 (平均3.4)	
職 員	19	○高い評価となっているのは、 ・「校舎内禁煙」の徹底 (平均4.5)	○傾向 ・学校の評価であることから、事務局職員の評価は2～3名である。 ・事務局職員が学校教育について評価することは、難しい状況がみられる。

○小・中・高等学校教育の評価者は、学校教育関係者7名、職員は8名である。
・事務局職員については、各項目の評価にかかわって把握することが難しいため、評価可能な一部を除き、学校関係者による評価とすることが望ましいと考える。

教育委員会評価（3） 事務局業務
Ⅲ 事務局

No.	分析	傾向と課題
学校 教育 関係 者	<p>○高い評価となっているのは</p> <ul style="list-style-type: none"> 4 ・夜間業務は22時まで (平均4.7) 27 ・スクールバス運行等の車両業務 (平均4.7) 19 ・教育扶助及び就学援助の業務 (平均4.5) 29 ・学校職員勤務評定事務の業務 (平均4.5) 35 ・教育長動向調整の業務 (平均4.5) <p>△低い評価となっているのは、</p> <ul style="list-style-type: none"> 14 ・地方教育費調査、高校通知事務等の業務 (平均3.0) 	<p>○傾向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体的に高い評価となっている。 ・予算を伴う内容は、難しい状況である。 <p>○課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・14（高校の業務）は、学校側は3.0であり、具体例について協議する必要がある。 ・25（外国語指導助手）は、具体的業務を見直す必要がある。
社会 教育 関係 者	<p>○高い評価となっているのは、</p> <ul style="list-style-type: none"> 43 ・幼児教育振興会の業務 (平均4.3) 53 ・青少年問題協議会委員の任免、会議の業務 (平均4.2) 68 ・文化財の保護、文化財調査委員の任免、会議の開催の業務 (平均4.2) 70 ・郷土芸能の伝承・育成の業務 (平均4.2) 76 ・スポーツ活動の安全対策の業務 (平均4.2) <p>△低い評価となっているのは、</p> <ul style="list-style-type: none"> 50 ・ユネスコ活動の業務 (平均3.0) 	<p>○傾向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業は、概ねよい評価となっている。 ・体育関係の中期計画は、見直して進める必要がある。 <p>○課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・49（新生活運動）、50（ユネスコ）、56（青年団活動）、66（図書館）は、評価者が少ないことから、社会教育課の共通認識を図る必要がある。
職 員	<p>◆共通</p> <p>○高い評価となっているのは</p> <ul style="list-style-type: none"> 4 ・夜間業務は22時まで (平均4.4) <p>△低い評価となっているのは</p> <ul style="list-style-type: none"> 2 ・事業等の計画等の積極的な姿勢 (平均3.3) 	<p>○傾向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2（事業等の姿勢）は評価に幅ある。
	<p>◆学校教育担当職員</p> <p>○高い評価となっているのは、</p> <ul style="list-style-type: none"> 19 ・教育扶助及び就学援助の業務 (平均4.6) 27 ・スクールバス運行等の車両業務 (平均4.7) 28 ・車両に関する予算、修理等の執行 (平均4.7) <p>△逆に、低い評価となっているのは、</p> <ul style="list-style-type: none"> 18 ・教科書及び教育用備品の業務 (平均3.4) 23 ・学校給食の施設管理・営繕・清掃業務委託等の安全対策、衛生管理の業務 (平均3.4) 	<p>○傾向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・25（ALTの業務）、29（職員評価事務）は、評価に幅がある。 <p>○課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勤務評定事務、関係団体・学校評議員事務は、評価結果から見直す必要がある。

職 員	◆社会教育担当職員	○傾向 ・38(生涯学習の推進体制)、41(出前講座等の業務)、44(PTA連合会の業務)、49(新生活運動)の評価にばらつきがある。 ○課題 ・49(新生活運動)、50(ユネスコ)、56(青年団活動)、66(図書館)は、評価者が少ないことから、各会議で全体の共通認識を図る必要がある。 ・50(ユネスコ活動)は、業務内容を振り返る必要がある。 ・38(生涯学習の推進体制)、41(出前講座等の業務)、44(PTA連合会の業務)、49(新生活運動)については、評価が分かれており、話し合う必要がある。
	○高い評価となっているのは、	
	72 ・スポーツ推進委員の任免、会議等の業務 (平均4.8)	
	73 ・地区スポーツ指導員の任免、会議等の業務 (平均4.8)	
	76 ・スポーツ障害保険加入奨励、保険事故処理等のスポーツ活動の安全対策の業務 (平均4.8)	
	78 ・学校体育施設の開放事業の業務 (平均4.8)	
	80 ・体育施設の使用許可、使用料の徴収等の業務 (平均4.8)	
	△逆に、低い評価となっているのは、	
	50 ・ユネスコ活動の業務 (平均2.3)	
	65 ・ボランティア団体の業務 (平均2.6)	
48 ・学校施設利用の各種開放講座の業務 (平均3.0)		
41 ・出前講座等への指導者養成・発掘等の業務 (平均3.1)		

○評価者は、学校教育関係者7名、社会教育関係者9名、職員15名(学校教育8名、社会教育7名)である。

・NO41(出前講座)、50(ユネスコ)、56(青年団体連盟の業務)、57(青年団体連絡協議会の視察研修等)については、他者評価の相互に差が見られる。差異の要因を明確にし、次年度に結び付けることが求められる。

・学校教育においては、19(教育扶助・就学援助)、27(車両業務)は両評価者とも高く評価している。

・社会教育においては、76(スポーツ活動の安全対策)は両評価者とも高く評価している。一方、50(ユネスコ)は両評価者とも低く評価している。次年度に当たっては、その要因を分析し具体的な方策を立てることが求められる。

平成25年度 えりも町教育行政評価にかかわる総括

1 評価総括

- (1) 教育行政執行方針にかかわる評価については、概ね高い評価を得ている。また、職員は全体的に自らを厳しく評価している。このことは、仕事に対する到達目標が高いことを示しており、今後、業務等の工夫・改善に向けた職員の一層の意欲を期待する。
- (2) 説示等に示された小・中・高等学校の項目については、着実に各学校が進めていることがうかがわれるなど、学校の意識改革が図られていることが見取れる。
- (3) 事務局業務の評価については、概ねよい評価となっているが、社会教育の中期計画の部分では、一部に検討を要する項目が見られる。
- (4) 25年度から具体的な評価項目を位置付けた評価が実施された。具体的には、学校教育では、校舎内禁煙、フッ化物洗口、服務勤務の宣誓の取組、車両業務、社会教育では、猿留山道、放課後児童クラブ、ピリカノカ、会議等の業務で多くの成果が生まれたこと、また、事務局では、週に一度の全体朝会、各課の打合せ、接遇（電話対応、身だしなみ等）、復命、素早い対応、深夜業務の解消、フッ化物洗口の業務、教育扶助や就学援助の業務等、職員の積極的な姿勢がうかがわれ、高く評価することができる。
特に、学校教育では、これまで通知やその他事務処理の対応が遅滞しているケースでの苦情などがみられたが、通知発出の改善（メール送信）、素早い事務処理対応等により、学校から高い評価を得たことは、大きな成果といえる。
- (5) 評価尺度については、評価が個人内評価となったため、項目によっては、評定に差が出ている項目も見られる。次年度については、学校教育、社会教育、事務局に対して、およその目安を示すなどの工夫が必要である。
- (6) 25年度から取り入れた、具体的な項目による評価により、職員の意識改革に結び付いている。

2 評価方法について

- (1) 教育委員会評価は、平成25年度教育行政執行方針の学校教育、社会教育、事務局の各業務等の内容について評価している。さらに、学校教育関係については、その他に説示等で示した具体的な取組を評価項目としている。また、事務局については、学校教育課、社会教育課の業務内容を評価項目として位置付けている。

今後も同程度の評価者が適当である。

(2) 平成25年度は、具体的な評価が初年度であることから、今後、平成25年度を含めて3年間継続し、その後、評価方法等について検証する。

3 評価者の構成について

(1) 評価者の構成は、外部評価者として、学校教育は各学校長（7名）、社会教育は社会教育委員9名（体育振興に係る項目は、スポーツ推進委員6名も加わる。）となっている。

(2) 学校教育の内部評価（事務局員の評価）については、事務担当であることなどから、評価が難しい状況にある。したがって、平成26年度からは、一部内部評価として、外部評価を位置付けることが望ましいと考える。

4 評価の活用について

分析の結果を踏まえ、平成25年度の成果と課題をしっかりと捉えて、平成26年度の教育行政執行方針並びに説示、事務業務内容に生かすこととする。

えりも町教育行政評価委員名簿

（任期：平成25年8月27日～平成27年3月31日）

氏 名	住 所	備 考
田 中 淳 一	笛 舞	学校教育関係者（校長会）
川 崎 尚 子	えりも岬	社会教育関係者（社会教育委員）
神子島 清 八	新 浜	学識経験者